

概要

日本観光産業の不況－観光と地域経済開発

既存観光政策の不効率性 と 原因

- 2-1 政策決定者の認識不足^{にんしき のふそく}
- 2-2 地域の行政区分から生じた問題
- 2-3 観光政策の歴史

提案：観光政策 の 分権の必要性

- 3-1 既存観光政策担当の行政：集中
- 3-2 観光政策の成功原因：責任の分権

提案：広域の観光プロジェクトに役に立つ行政

現場 から生じた成功事例

新潟県高柳町-まちづくり

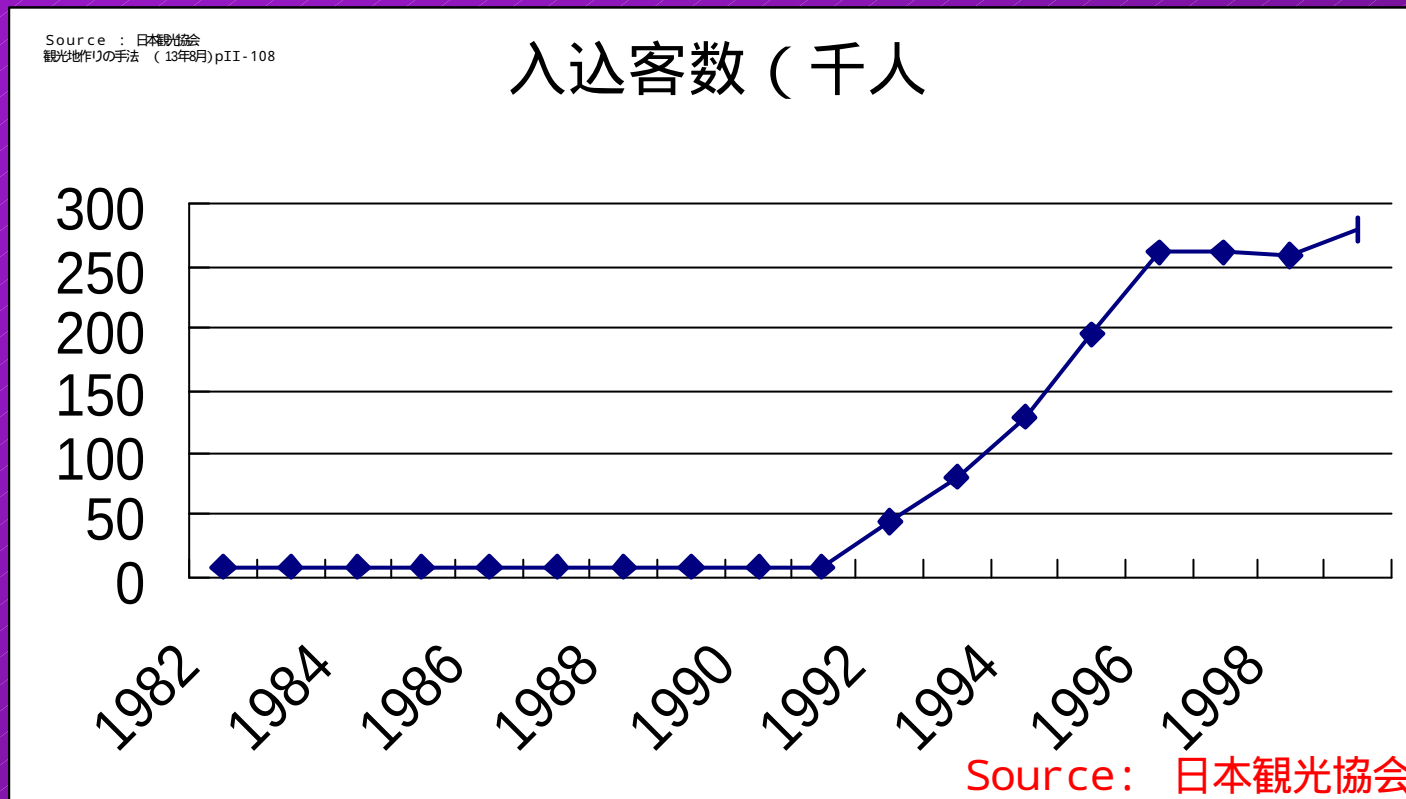
山梨県高嶺町-観光広域づくり

新潟県高柳町

農村



高柳町 : 観光的成功 !



高柳町

人口	2548
世帯数	961

入込客数 : (H 1 1)

279,000人

(9 0 % 日帰り・8 9 % 県内・8

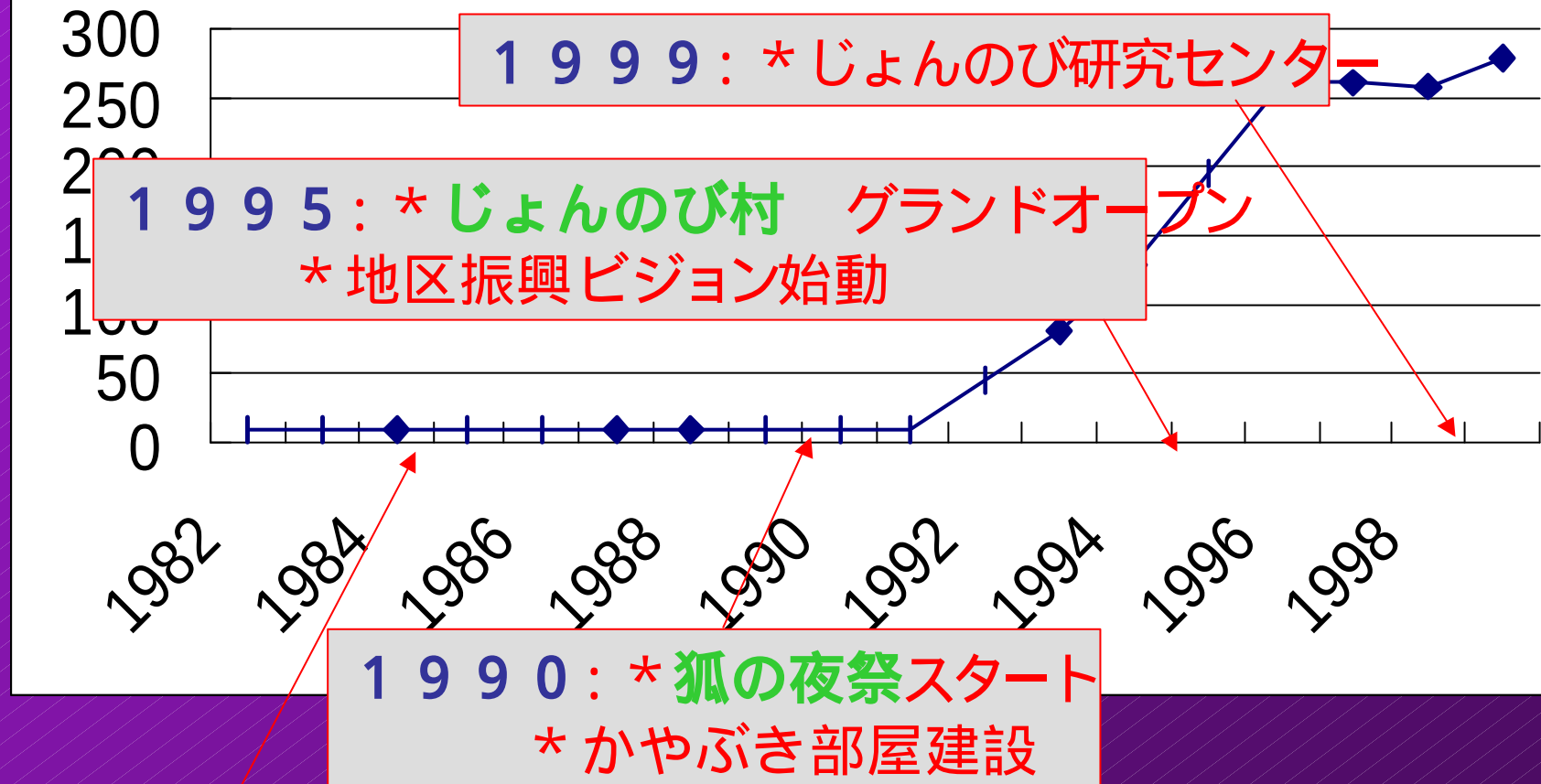
0% 関西)

(C) Institute for Transport Policy Studies Luc BEAL 2002

データ : 日本観光協会

成功の原因

入込客数（千人）



データ：日本観光協会

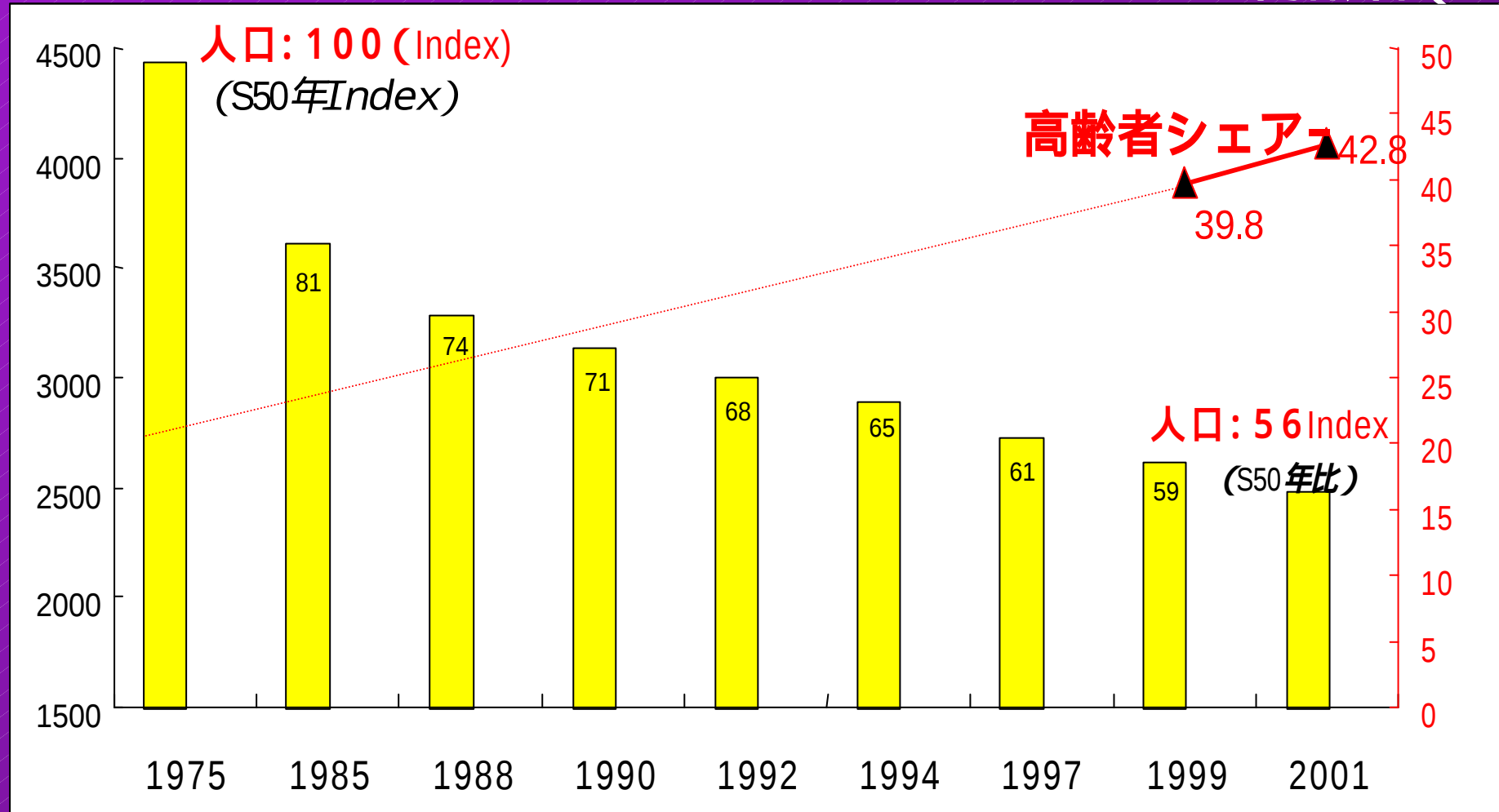
成功の原因

“ 成功 ” とは、観光についてだけでなく。。

高齢者のシェアー (高柳町)

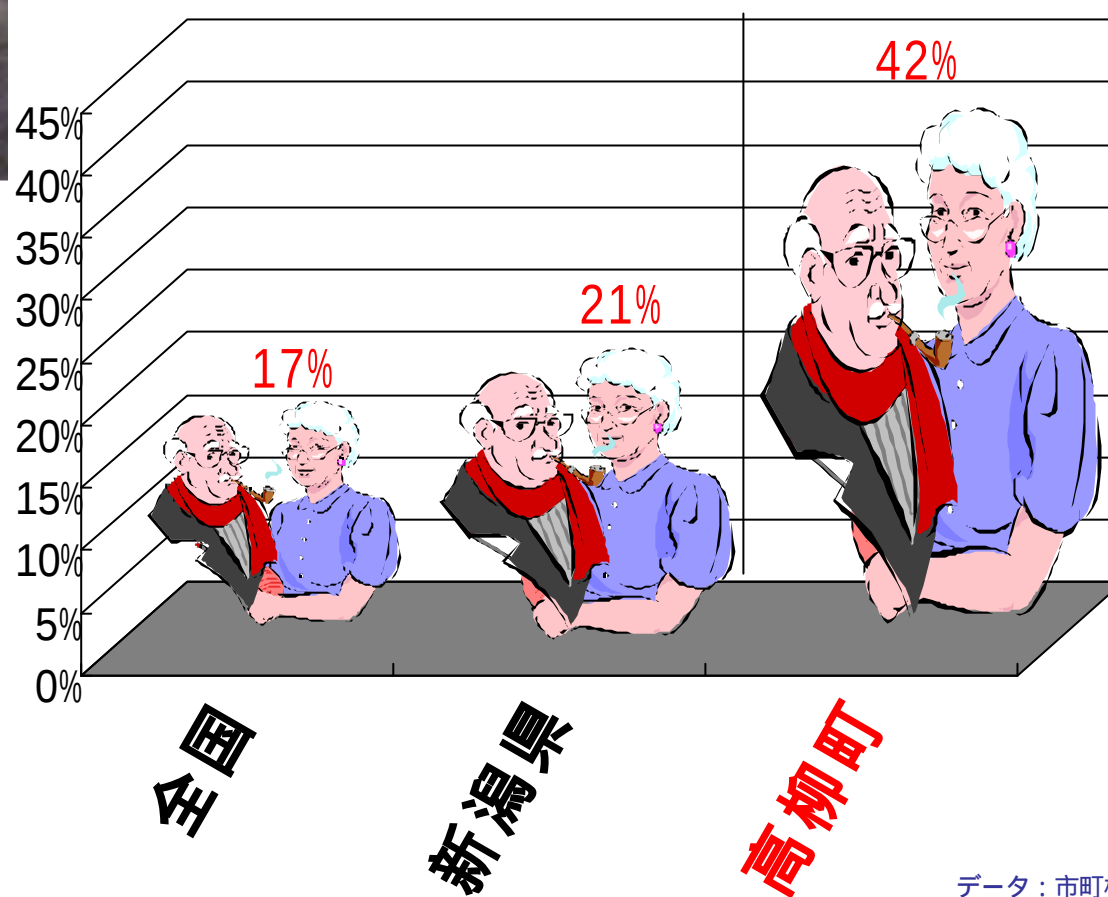
人口

高齢者 (%)





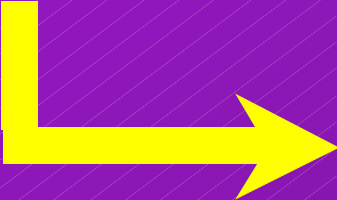
高齢者のシェア



データ：市町村自治研究会
全国市町村要覧（H12）

“ふるさと開発協議会”の戦略:

→ 住民のために、町外の人との交流の振興



第1戦略：イベントと施設開発
市民間、プライド（自慢）

つくり



イベントと施設は観光客のためにもなる

！



第2戦略： 住民、町外の人間の交流を増や

す

個性があるまちづくり

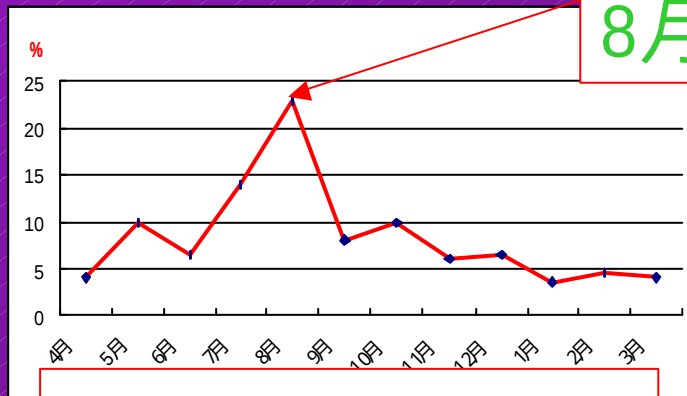


隈研吾様 建築家



プライドを入れる

→ イベント開発（ゼロから！）：狐祭

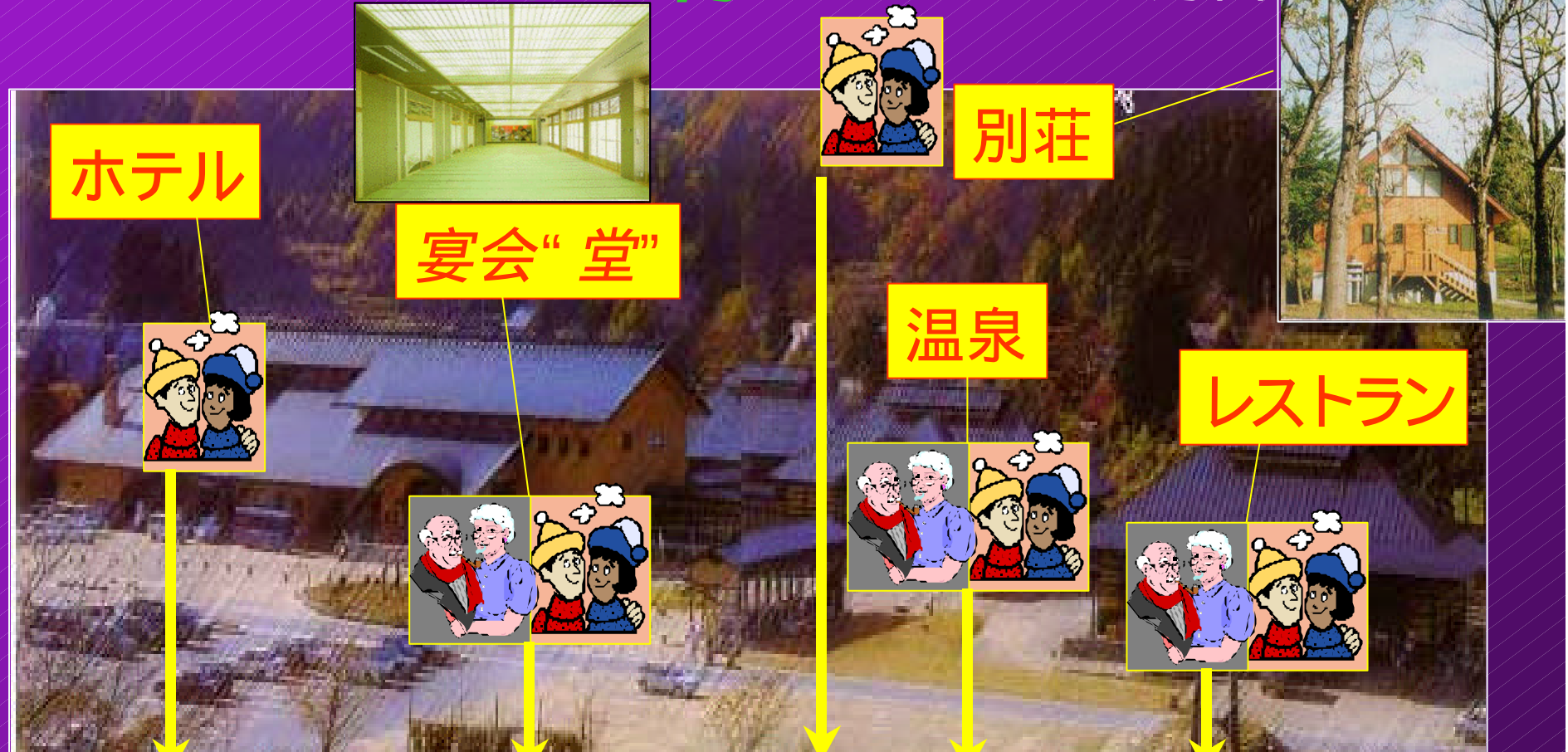


月別利用者数の変動

8月：狐祭



→例：住民と観光客のための **施設**
“ **じょんのび** ” 村 「のんびり」-方言



2つの客の種類を合わせたので：
人件費分担 収入源の多様化 交流振興

高柳町例の まとめ

1985から、“ふるさと開発協議会”の会議：15年間のプロセス

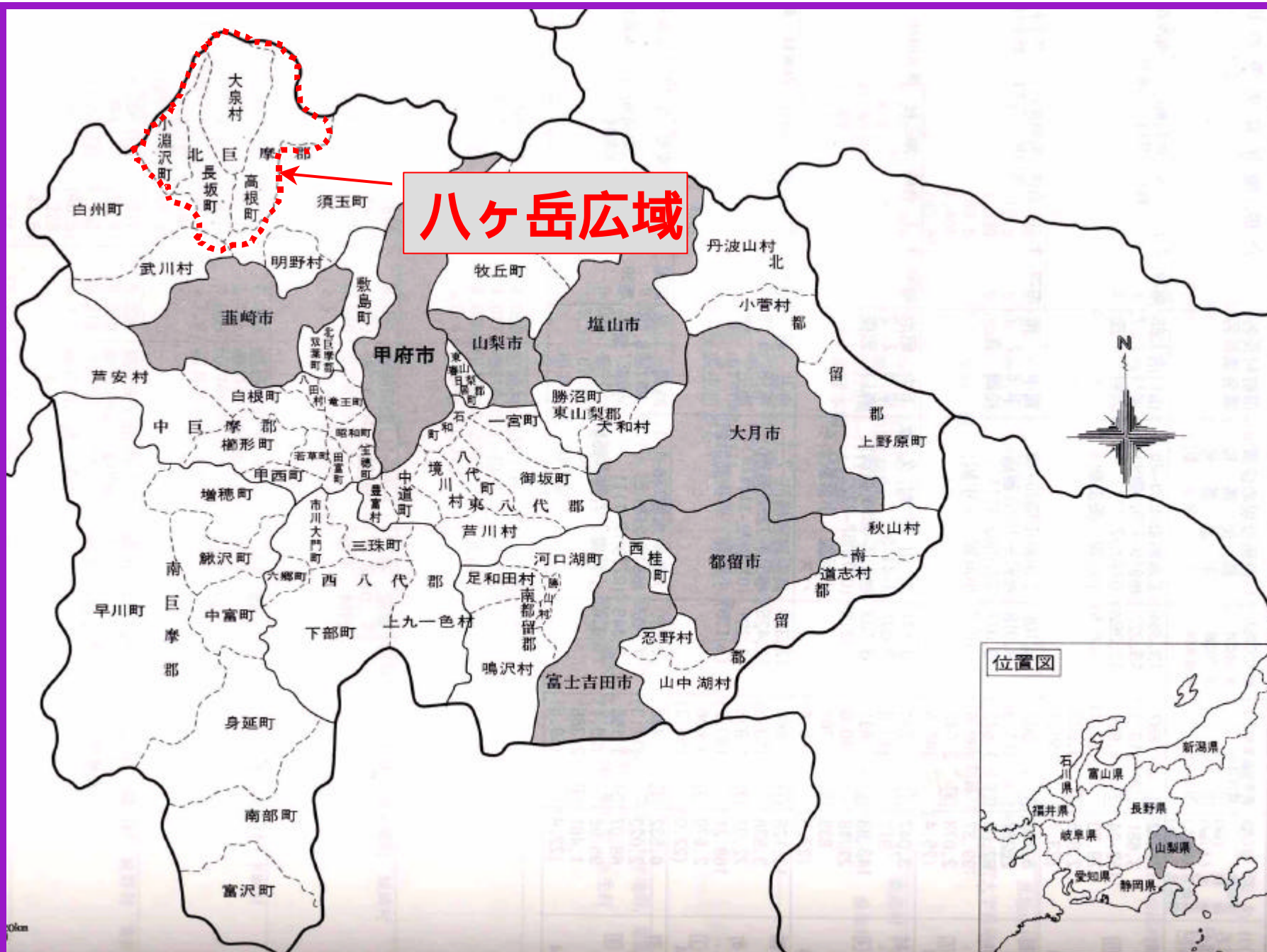
ねざ:to involve

住民、民間事業者を運動に連座させる

地元の個性について、意識作り：例えば「“雪国“の

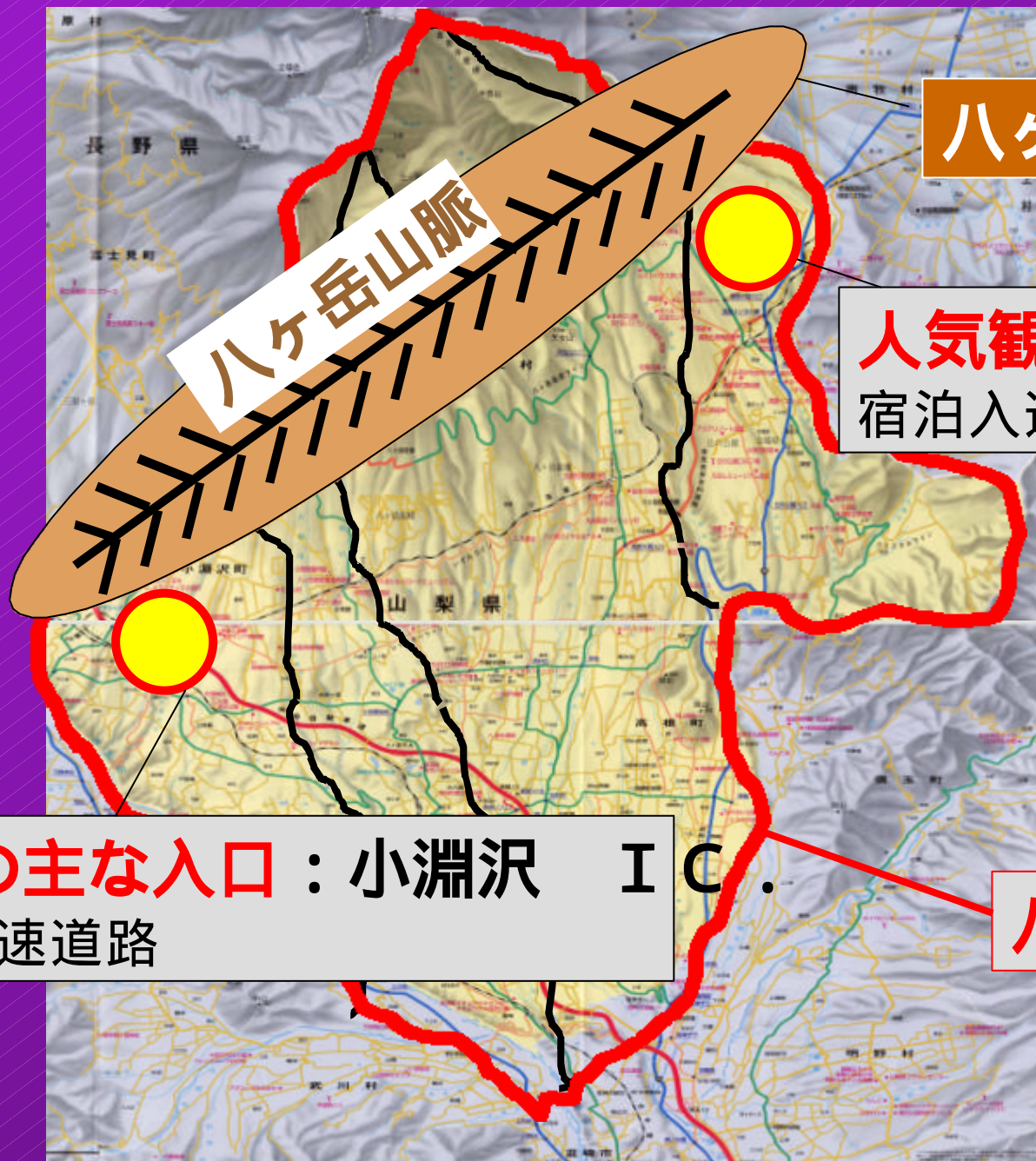
農村」

山梨県高嶺町 観光広域づくり





八ヶ岳広域



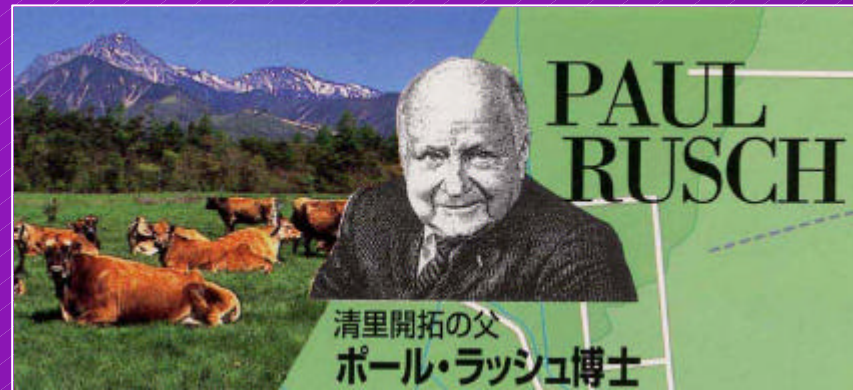
八ヶ岳

人気観光地：清里
宿泊入込客数：45万人_(H10)

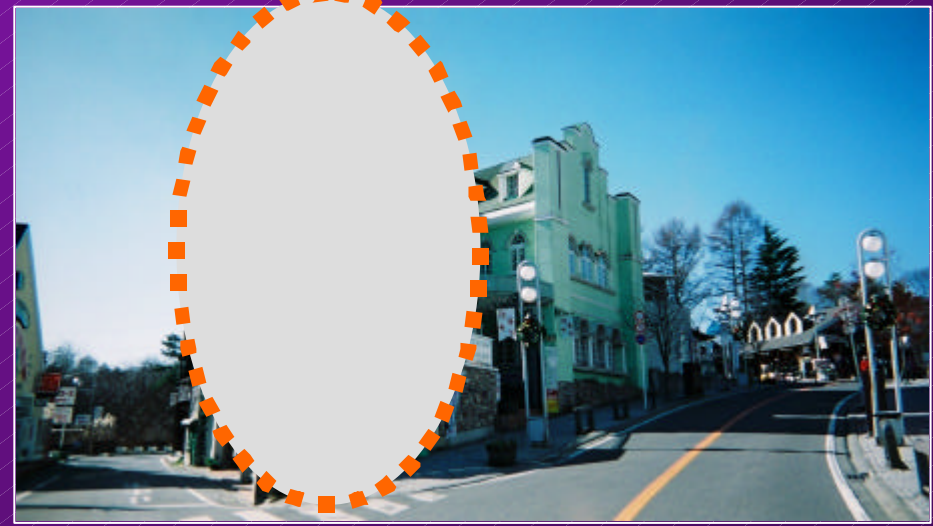
広域の主な入口：小淵沢 I C .
中央高速道路

八ヶ岳広域

1950年代 : *KEEP* 協会の開拓実験



1980年代 *PENSION Boom* の失敗





提案： 広域の観光プロジェクトに役に立つ行政

1 - 意識づくり

2 - 競争と革新意識の導入

3 - 責任意識を入れる

4 - 恒常的な活動機関の必要性

意識づくり方式：“わが地元は観光地になれる”



ゴミ



派手な施設



整備されてない



営業していた店舗

競争と革新意識の導入

“競争の振興 = 差別”



“平等主義”

競争だけで革新の振興できる

行政の役割：

弱いアクターを手伝う

革新者の振興と

発見



責任意識を入れる



勝沼町内循環バス

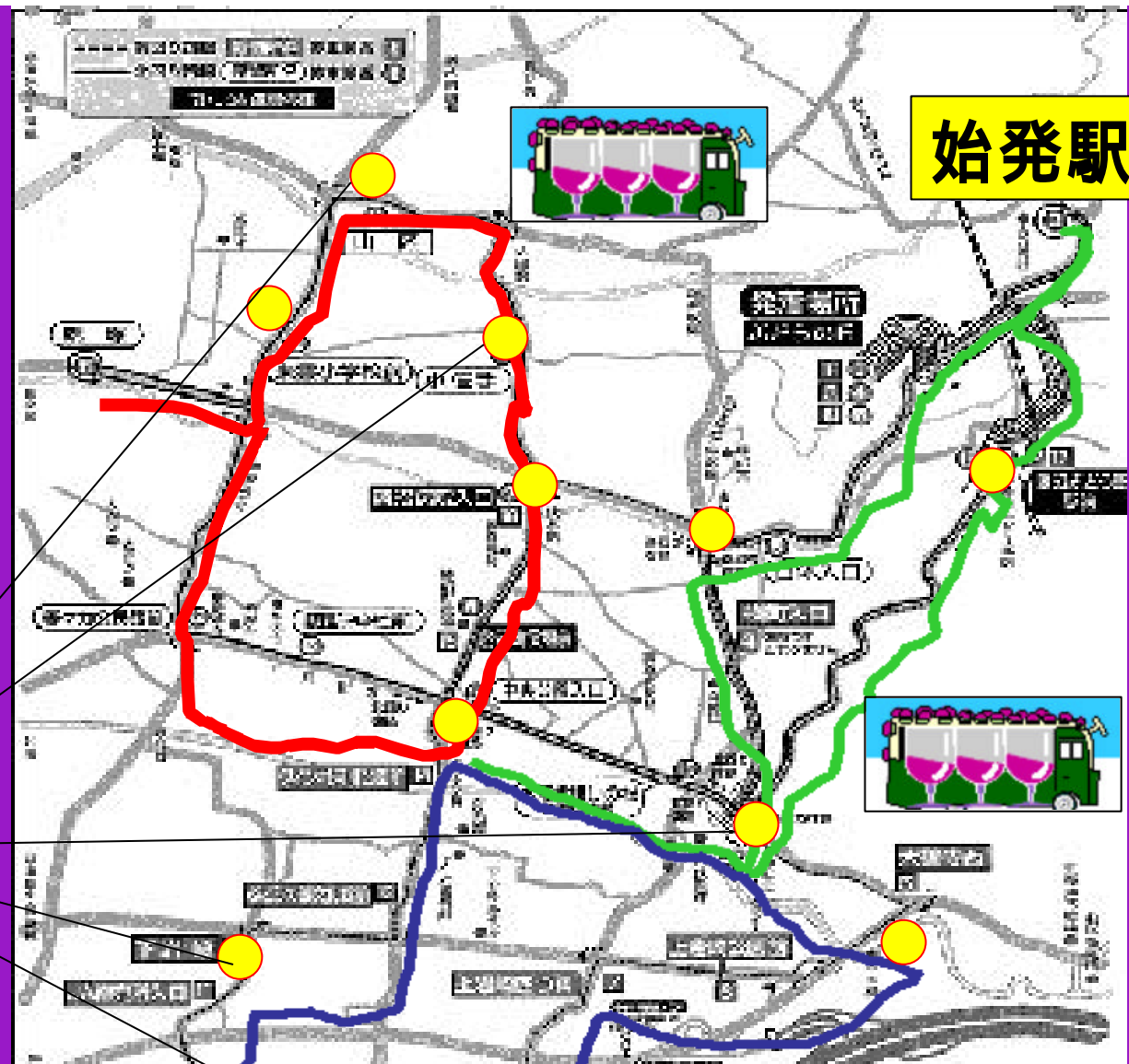
運賃／1回100円(距離に関係なくどこで降りても均一料金。乳児は無料。)

ぶどうの丘発着になりました。



http://www.shokokai-yamanashi.or.jp/~katu_yama/budobas.htm

民間企業
(ぶどう・ワイン)

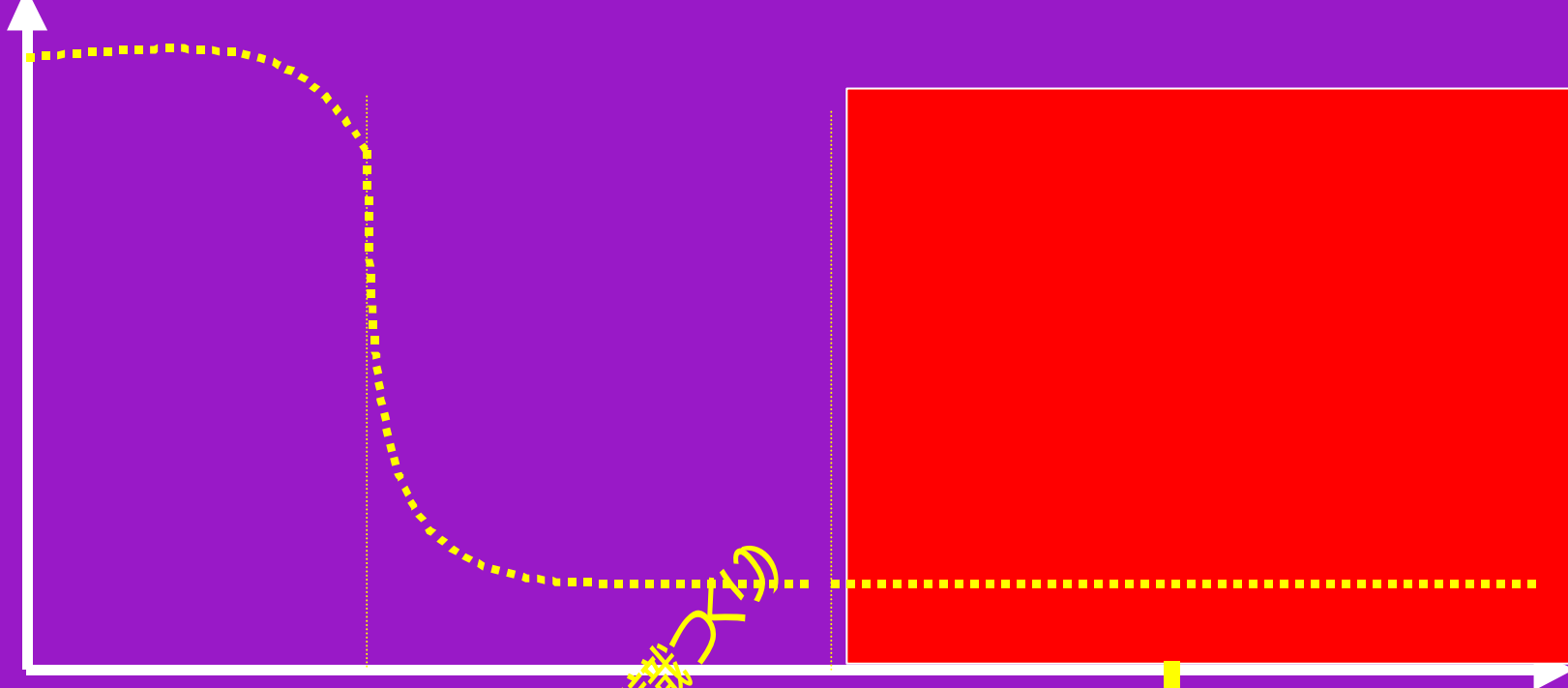


- >時刻表は新宿からの 急行電車と合わせて
- >乗金 : 100円だけ

こうしょうてき

恒常的な活動機関の必要性

会議出席者人数



準備 段階

Braining

チーム選択-意識入り

重大な段階： 政策実施
「予算・人材必要！」

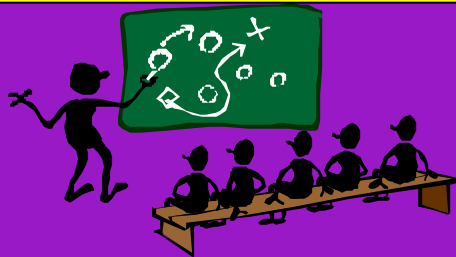


ボランティア

知恵あり・経験少ない

時間ない・予算ない

観光の専門家



広告・政策
広域計画

リーダー



連携・意志決定

人材(日常の事務)



決定の実施

(とちきせいど)

土地規制制度 : 5つの法律



電線



都市再生本部の導入

<http://www.kantei.go.jp/jp/tosisaisei/>

げんせい
原生自然保護区

自然環境法

しんりん
森林法
(スキー場)

山脈

森

農地

スプロール化

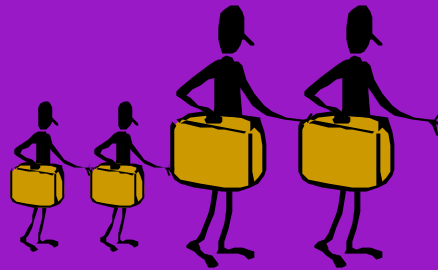
農村

スプロール化

農地法

都市計画法

宿泊コストの課題



4人家族:

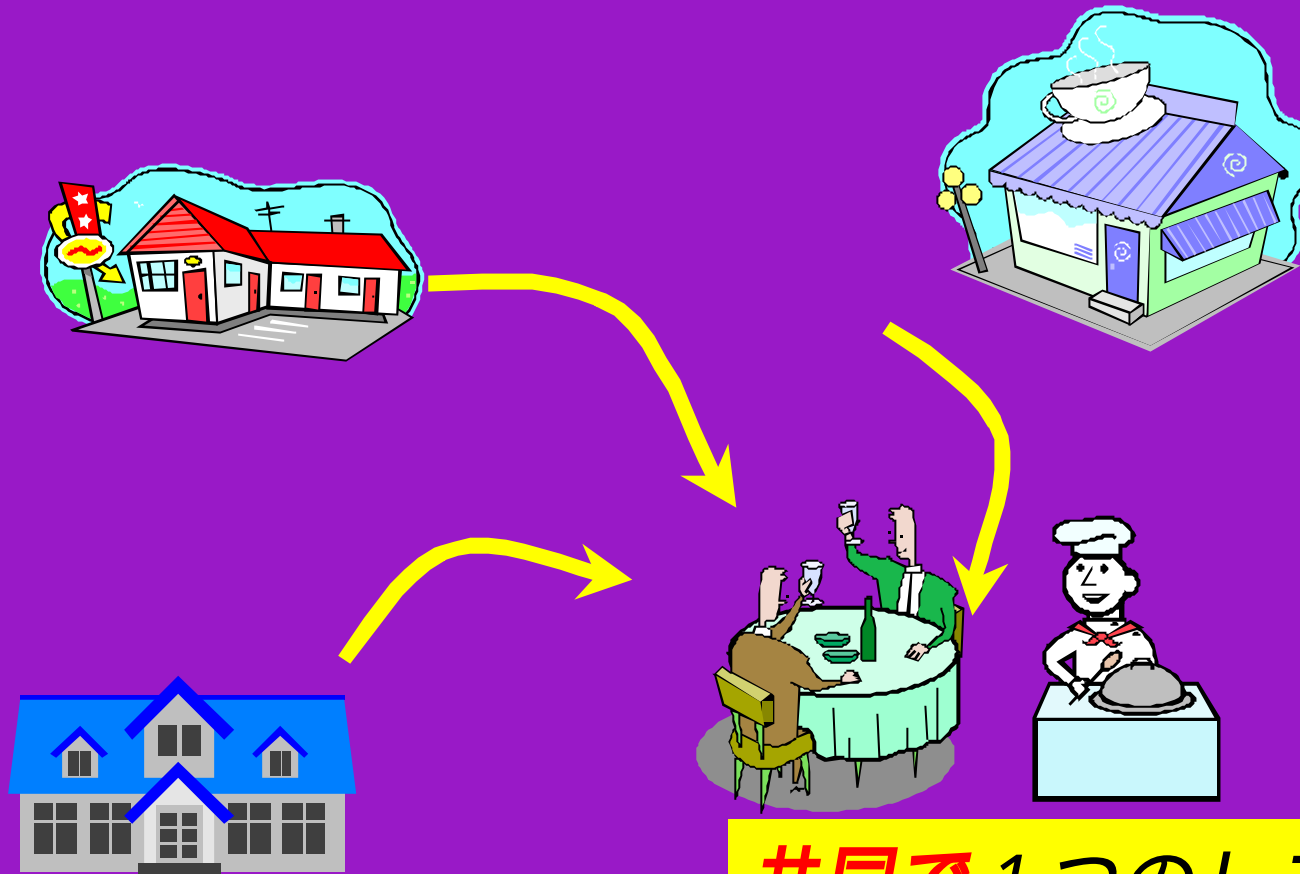
1人当たりの料金設定

	料金 (1泊)
子供2人	2*8000
大人2人	2*10000
TOTAL	36000



“食事を**含めているから**
1部屋当たりの料金設定で
きない”

ある地域 いくつかのペンション。。。。



共同で 1つのレストラン
部屋当りの料金設定できる
? !

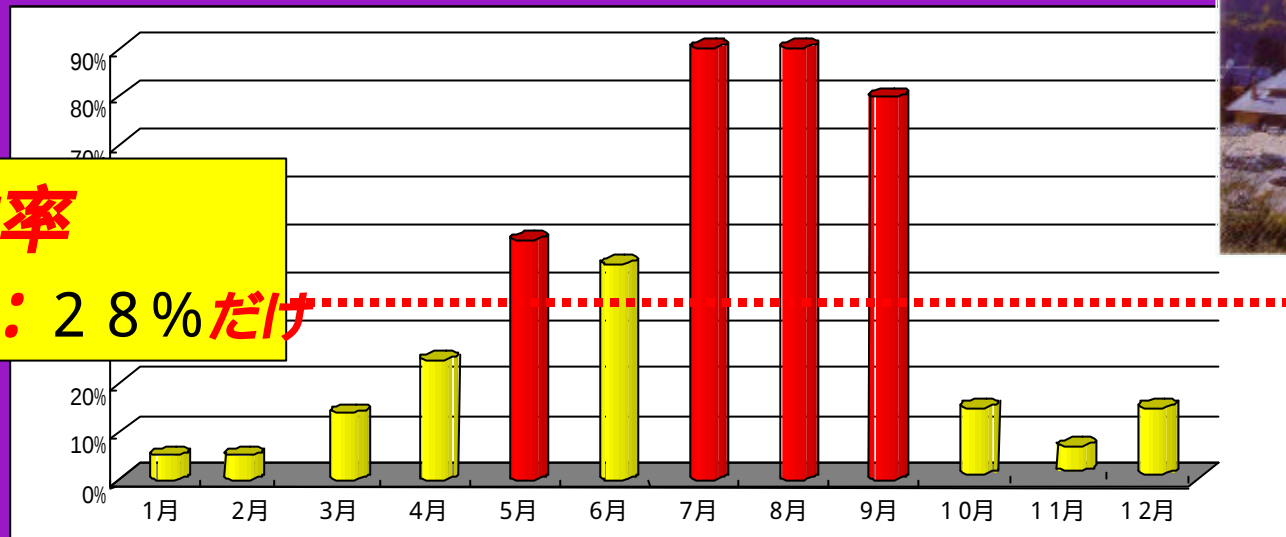
部屋の平均的な稼働率は低すぎる

“ じょんのび ”



稼働率

平均：28% だけ



business practise
業務慣行で日本の観光客は皆に同時に休む
(GOLDEN WEEK・お盆・正月)

ホテルの管理者は、
客の来ない時期を見こして、部屋代を高くする

「英・独・蘭・仏」

1年を通じて学校の地理的なゾーン休日をずらすことは
効率的な政策。



ホテルの年中稼働率を増やす



部屋代を安くできる

まとめ

- 既存観光政策は効率的ではない
- 成功できる観光政策は現場から生じますが、
- 現場レベルの行政は、県庁と中央政府の手助けが必要
 - 効果がある補助金の使い方
 - 町村間の競争を防止・広域レベル政策連携
 - 既存法律の改革 ・ 革新振興(送迎。。。)
- 観光広域のための行政機関が必要 (国立公園?)

終

Merci